

6 黒島地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい黒島のまちにするために、地域の皆さんが、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ 地域のことを見つめ直そう！

～地域について考えるきっかけづくり～

日 程：平成19年1月20日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは黒島地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う黒島地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



よかところ

- 黒島天主堂がすばらしい
- 魚がおいしい
- お祭りが楽しい

気になるところ

- 街灯が少なく、夜歩くときに困る
- イノシシが多いので不安
- 働く場所が少ない

皆さんも黒島地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょ！

問1 「黒島天主堂」の設計や資金集めを行い、さらには祭壇の装飾の彫刻、説教壇までつくったのは、フランス人のマルマン神父です。この神父は、他の教会の建設にも携わりました。それは、次のうちどの教会でしょうか？

- ① 堂崎教会（福江市） ② 楠原教会（五島市） ③ 大曾教会（上五島町）

問2 今から30年以上前の昭和46年、黒島小、黒島中学校には、何人の児童・生徒がいたでしょうか？

- ① 298人 ② 461人 ③ 623人

問3 黒島港を見下ろす丘にある黒島神社の階段は何段あるでしょうか？

- ① 79段 ② 87段 ③ 93段

※答えはP8の下にあります。



第2回

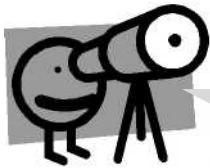
テーマ 地域みんなにできることを探そう!
～小さなことでも地域のために～

日程：平成19年2月17日(土)

内容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回もまずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかをご紹介します。

問題

ごみのポイ捨てをする人がいる



“みんなにできること”の意見

- 人のせいにしないで気づいた人が拾う
 - 自然を大切にして、決まった場所に捨てる
- 気持ちを忘れない

◆参加した皆さんの感想から◆

- ◎“黒島”のことを改めて考えるいい機会になった。考えたことを実行するために、できることから行動したい!
- ◎これからも、地域のことを真剣に考える機会(検討会)などを設け継続していくことが必要である!

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。

まずは、黒島地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考えて取り組むことが大切です。



この“お茶の間トーク”での意見をもとに、福対協が中心となってまとめた、次のページの“みんなの力でできること”をぜひ実行していきましょう!